

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 5 月 9 日

事業所名 児童デイサービス 福すけ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	指導訓練室の中央部分に仕切りを設け、環境の変化をつけている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0		法令に基づいた人員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	階段には手すりを設置し、段差には色テープを貼りわかりやすくしている。	段差がある部分にはスロープを設置する等、改善を検討しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	日々の振り返りを行い支援が適切であったか 問題点に対応しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	評価表での意向、連絡帳に書かれている保護者様の意向を業務改善につなげている。	スタッフ会議を行い、保護者様の意向に沿えるように改善しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		外部評価は行っていません。今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	外部の講師を招いての研修や外部研修への参加、定期的な内部研修を行い職員の資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	保護者様との面談、手紙、電話、連絡帳にて意見交換をし、保護者様のニーズや課題に適した支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	6	独自の記録やスタッフ会議での資料を基に作成している。	標準化されたツールは使用していない。今後検討していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	ミーティング等で話し合いをしている。	ミーティングで話し合いをし、児童の特性などを考慮し決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	ミーティングをし、日々の様子から個々に合ったプログラムを作成している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	状況に応じて支援している。	長期休暇等、支援時間が平日と異なる場合など、前もってスケジュールを話し合い支援内容を決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	スタッフ会議を行い個々に応じた支援計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎朝ミーティングにて確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3	支援終了後は打ち合わせが難しい為、毎朝のスタッフミーティングにて共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	気付きノートやケース記録を作成し情報を共有し、改善につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	定期的にモニタリング・評価・スタッフ会議を実施し、判断している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	児発普が対応している。	相談支援事業所のサービス担当者会議は開催されていない。電話での問い合わせがある。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	学校お迎え時先生に様子を伺っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	現在、該当される児童はいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	関係機関と情報共有にて努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	連絡があった場合は、保護者様の了承を得て情報共有している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	児童発達支援センターの研修などに参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		機会を設ける事は難しいが、避難訓練等にて地域の方々との取り組みを検討しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1	自立支援協議会に参加し意見交換をしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	ご自宅送迎時に保護者様と直接お話をしたり、連絡帳にて情報共有している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2		ペアレントトレーニングについて実施できるように考えていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	利用契約時に保護者様に丁寧に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	送迎時や連絡帳・電話にて保護者と話し合い、助言と支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	コロナ禍の為、開催できていない。	保護者様間での情報共有は、大切な事だと考えているので、イベントなどを開催し、情報共有の場を検討したいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	苦情窓口を設置しています。迅速に対応できる組織作りをしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	会報等は発行していないが、写真や日々の活動内容をブログに掲載しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	鍵付きの書庫に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	個々にあった適切な意思疎通ができるように配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	セキュリティや安全の配慮から招待は行っていません。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	各種マニュアルを作成している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	職員・対象の避難訓練、児童対象の避難訓練を定期的に訓練している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	年間研修に虐待研修を確保し取り組みを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	チャイルドシートが必要な児童様には保護者様と同意書をお渡しし、身体拘束に必要な記録、支援計画書への記載もしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	利用契約時に確認し対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハットを作成し、振り返りも行っている。	